

県南地域は「つつが虫病」の報告が多い

つつが虫病

噛まれてから5～14日で発症します。
刺し口、発熱、皮膚の発疹（ぼつぼつ）が特徴です。
重症だと肝臓や腎臓が急に悪くなります。
飲み薬が良く効く病気なので症状があれば医療機関を受診しましょう。



「ツツガムシ」
体長0.2～0.5 mm

■ 感染予防の方法

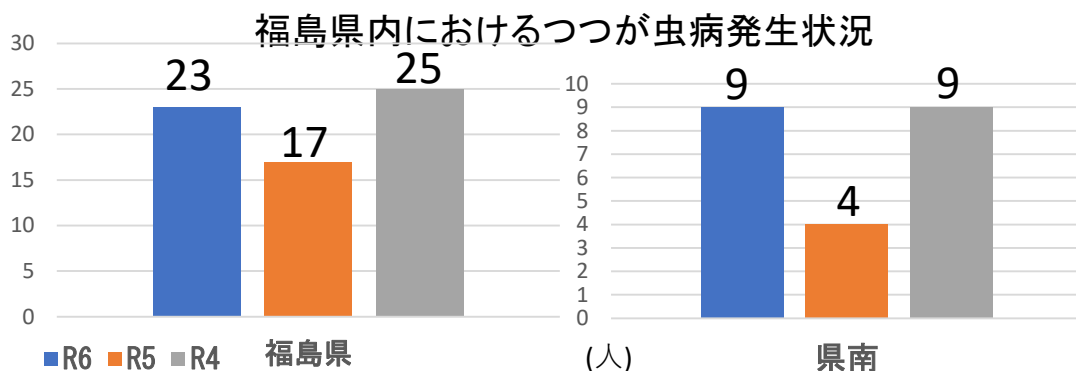
野山や河川敷などに入る際は

ハイネック
首にタオルを巻く

シャツの袖口を
手袋や軍手にしまう

ズボンの袖口を
長靴や靴下にしまう

虫よけのスプレーを使う
(ディートやイカリジン等の
有効成分を含んだスプレー)



マダニからうつる命にかかわる感染症！

マダニから感染するSFTS

(重症熱性血小板減少症候群)

2025年9月28日現在、全国で165例報告

■ マダニのもつウイルスに感染すると重症化リスクの高い病気になる可能性があります。

ウイルスに感染したペットのネコやイヌなどとの接触により感染したと考えられる症例も報告されています。

ウイルスを持っているマダニに噛まれると6～14日後に症状が出現します。
発熱や嘔吐・下痢、重症例では意識がもうろうとして死亡する例もあります。

医療機関を受診しましょう！



「マダニ」：体長3～10mm
(吸血で10mmまで増大します)

